



2025年11月26日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬  
(コード番号 3034 プライム市場)  
問い合わせ先 広報部長 白 国 宏 基  
T E L 03-6430-9060

## クオール 2030年に向けた温室効果ガス排出削減目標が 国際的な気候変動イニシアチブ「SBTi」の認証を取得

クオールホールディングス株式会社（東京都港区 代表取締役社長：中村 敬）は、クオールグループの温室効果ガス排出削減目標がScience Based Targetsイニシアチブ（SBTi）から科学的根拠に基づく目標として認証を取得しましたのでお知らせします。



### ＜温室効果ガス排出削減目標＞

- ・2023年度を基準に、2030年度の温室効果ガス排出量（スコープ 1+2※）を42%削減する
- ・2023年度を基準に、2030年度の温室効果ガス排出量（スコープ 3※）を25%削減する

※スコープ 1: 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出

スコープ 2: 自社が購入した電気、熱の使用に伴う間接排出

スコープ 3: スコープ 1、2以外のサプライチェーンにおける間接排出

クオールグループは、医療サービスを提供する企業として、経済的価値の創出にとどまらず、社会的価値の向上を追求することも重要な責務と考えています。気候変動や環境汚染は、クオールグループの事業に大きな影響を及ぼしうる社会課題であり、これらに積極的に取り組むことは、人々の暮らしや健康を守るうえで不可欠です。

こうした認識のもと、取り組みをさらに加速させるために、このたび新たな温室効果ガス排出削減目標を設定し、パリ協定に整合する水準であるとして Science Based Targets イニシアチブ（SBTi）の認証を取得しました。今後も様々なステークホルダーと協働しながら、グループ全体で社会課題への取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## ■Science Based Targets イニシアチブ (SBTi) とは

SBTiは、CDP、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、世界資源研究所(WRI)、世界自然保護基金(WWF)の4つの機関により共同運営されています。パリ協定の目指す世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して1.5°C以下に抑えるという目標に向け、企業に対して科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標を設定することを推進しています。

詳細は、SBTi公式サイト(<https://sciencebasedtargets.org/> 英語)をご参照ください。

## ■本取り組みに該当するクオールグループのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、持続可能な社会の実現へ向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、マテリアリティを設定しています。

そのマテリアリティとして、クオールグループは「気候変動への対応」を掲げています。医療に携わる企業として、“あなたの、いちばん近くにある安心”をスローガンに、安心・安全な医療を提供するとともに、パートナーシップによって新しい医療価値を創出してまいります。

クオールグループのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。  
(<https://www.qolhd.co.jp/sustainability/>)

マテリアリティ	重要テーマ
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境負荷の低減</li><li>・自然エネルギーの積極活用</li><li>・医薬品の廃棄削減</li><li>・CO<sub>2</sub>排出量の低減</li></ul>
地域のクオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・雇用創出</li><li>・医療従事者への支援</li><li>・次世代への教育支援</li><li>・高齢化社会への対応</li><li>・地域コミュニティへの貢献</li><li>・市民向け講座の実施</li></ul>
従業員のクオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ダイバーシティの推進</li><li>・人材開発の促進</li><li>・ワーカーライフバランス推進</li><li>・福利厚生、労働環境の多様化</li><li>・DX推進による人材の有効活用</li></ul>
持続的な医療による クオリティ オブ ライフへ貢献	<ul style="list-style-type: none"><li>・サプライチェーン管理の強化</li><li>・医療継続を実現する組織力の強化</li><li>・総合ヘルスケア支援の強化</li></ul>
新しい医療価値の創出	<ul style="list-style-type: none"><li>・パートナーシップ事業展開</li><li>・医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出</li></ul>
コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・取締役会の実効性強化</li><li>・コンプライアンス強化</li><li>・適切な情報開示と透明性の確保</li><li>・情報セキュリティの強化</li><li>・BCPの確立</li></ul>

クオールグループが掲げる 6 つのマテリアリティ（重要課題）

### 【本件開示に関するお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

Tel : 03-6430-9060 (お問い合わせ受付時間：平日 9 時～18 時)

以 上